

中国運輸局環境対策アクションプラン

～平成 27 年度施策評価及び平成 28 年度行動計画～

はじめに

行先や目的に応じた「かしこい」移動手段の選択が、わたしたちに求められています。

バスや電車などの公共交通機関は、多くの人々が利用すれば、ひとりで自家用車を利用する場合と比べてCO₂排出量が少ない乗り物と言えます。

自家用車を利用する場合に、エコドライブの実践により運転方法を工夫することも、環境にやさしい行動のひとつです。

ICカードの導入によって運賃支払いの時間を短縮できますが、混雑時には、降車のための車内移動に時間を要する場面もあります。停留所と信号待ちでそれぞれ停車するため、自転車で移動するよりも時間がかかることがあります。

地域によって、公共交通機関のサービス水準には差がありますが、交通事業者たちは地域の足を守るため、サービス水準の維持に努めながら省エネルギーにも取り組んでいます。

エネルギー消費や温室効果ガス排出を抑制するために、工場の操業など、経済活動を止めるわけにはいきません。それは、交通分野にとっても同じことです。

「社会にとって望ましい交通手段の選択とは何か」を考えることは、環境負荷を抑えながら不便のない社会生活を維持していく方法について考えることです。

交通分野における環境対策

国土交通省は、平成26年3月に、2014～2020年度（平成26～32年度）にかけての環境行動計画を策定しました。

「低炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」の各分野を総合的に施策展開することにより、政府が目指す「持続可能な社会」実現に貢献していく方針を掲げています。

環境にやさしい行動は、国民各界各層が一丸となって取り組まなければなりません。

中国運輸局は、わたしたちの暮らしに密接に関わっている交通に起因する環境問題の改善に向け「物流の効率化」「公共交通機関の利用促進」「運輸部門の省エネルギー対策」「次世代型環境対応車の普及促進」等、取組みの着実な推進に努めてまいります。

併せて「環境負荷を減らすためには、どのような交通手段選択が望ましいか」「自分たちが暮らす地域の交通手段を守るために、どうすべきか」について、自ら考えて行動していただく人が一人でも増えるよう、環境負荷低減に向けた行動をとっていただくための啓発活動にも力を入れていきます。